

みんなで作って、みんなで使う レファレンス協同データベース

国立国会図書館 関西館 図書館協力課 藤田千紘

令和元年度 第2回 図書館実務研修会

開催日：令和元年9月9日（月）

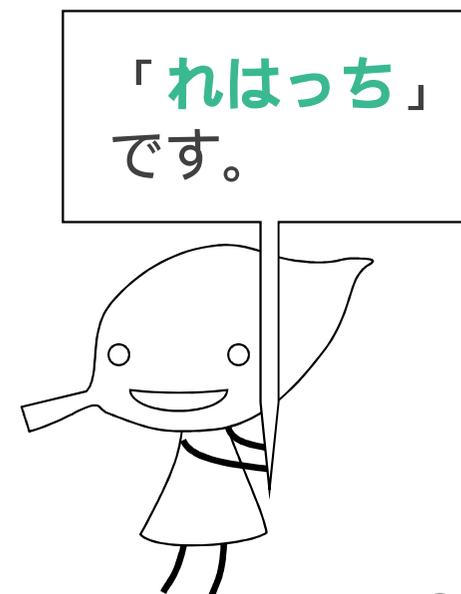
会場：ミライon図書館

レファレンス協同データベースとは（ざっくり）

- 図書館で受けた質問とその回答など、調べものに役立つ情報を集めたデータベース
- 全国の図書館がデータ登録して「協同」で運営
- 略称は「レファ協」



<https://crd.ndl.go.jp/reference/>



おはなしすること



はじめに：レファ協ってどんなもの？



レファ協のすすめ



レファ協を使ってみよう



図書館の活動を届けるために



参加方法 / 参加した後



質疑応答



はじめに：
レファ協ってどんなもの？

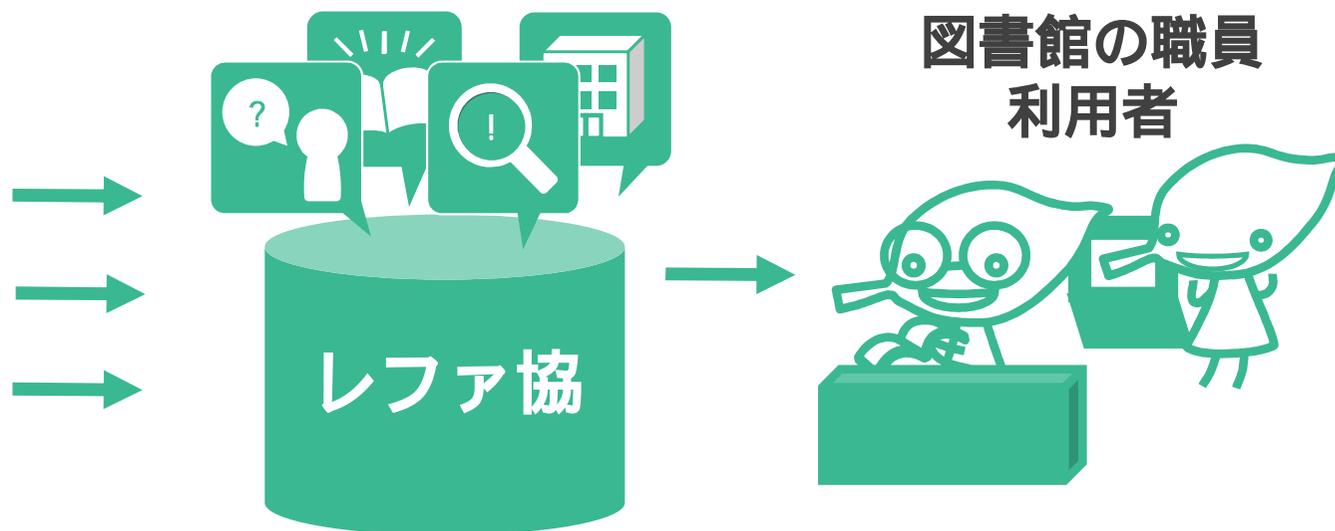
事業の目的

「...図書館等における...データを蓄積し、並びにデータをインターネットを通じて提供することにより、図書館等におけるレファレンスサービス及び一般利用者の調査研究活動を支援する」

(事業実施要項から)

全国の参加館

国立国会図書館
公共図書館
大学図書館
専門図書館
学校図書館
アーカイブズ



(寄り道) 国会図書館の役立つサービスを少しご紹介

- 歴史的音源 (れきおん)

戦前のSPレコード等の音源5万点のうち、著作権 (著作隣接権) の保護期間が満了したものをインターネット公開。それ以外のものは、図書館で利用可能 (要申請)



- 国立国会図書館デジタルコレクション

国会図書館がデジタル化した資料のうち、著作権保護期間が満了した資料、著作権者の許諾を得た資料等をインターネット公開。インターネット公開していない資料のうち、絶版等の理由で入手困難なものについては、デジタル化資料送信サービスにより図書館で利用可能 (要申請)

- 全国書誌データ (JAPAN/MARC)

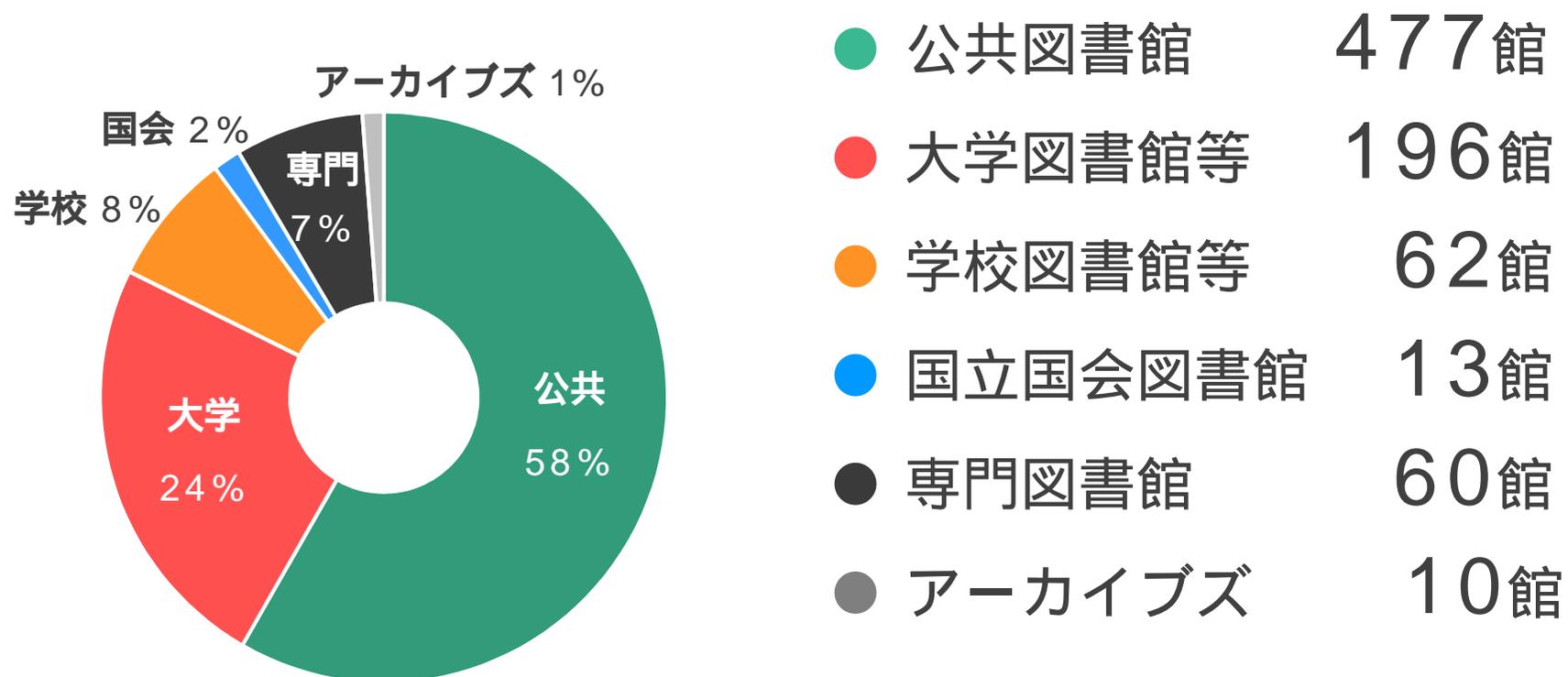
（寄り道）国会図書館の役立つサービスを少しご紹介

- 特定のテーマに基づき国会図書館内で実施される「**集合研修**」
- 国会図書館の職員を呼んで研修を企画できる「**派遣研修**」（旅費は依頼元負担）
- レファレンス、資料保存、デジタル化等、図書館業務に役立つ研修動画がYouTube上で見られる「**遠隔研修**」
- 国の機関、地方自治体、独立行政法人、国公立大学などの過去のウェブサイトを収集・保存する「**国立国会図書館インターネット資料収集保存事業（WARP）**」



館種別の事業参加館数（令和元年7月末時点）

得意分野、所蔵資料、サービス対象...違うからこそ、互いに補い合える
レファレンスはチームで解決！



都道府県立図書館 54館、政令都市立図書館 25館、市町村立図書館 398館

国立大学図書館 49館、公立大学図書館 20館、私立大学図書館 126館、高等専門学校 1館

都道府県別の参加館数（令和元年7月末時点）

1	東京都	135機関	13	奈良県	18機関	22	三重県	11機関	37	徳島県	7機関
2	大阪府	55機関	14	秋田県	17機関	26	群馬県	10機関	38	香川県	6機関
3	愛知県	50機関	14	滋賀県	17機関	26	山梨県	10機関	38	鹿児島県	6機関
4	兵庫県	42機関	16	茨城県	16機関	26	山口県	10機関	40	福島県	5機関
5	神奈川県	39機関	17	石川県	13機関	26	佐賀県	10機関	40	鳥取県	5機関
6	埼玉県	32機関	17	岐阜県	13機関	30	栃木県	9機関	40	愛媛県	5機関
7	千葉県	27機関	17	静岡県	13機関	30	福井県	9機関	43	山形県	4機関
8	京都府	25機関	17	岡山県	13機関	32	富山県	8機関	43	和歌山県	4機関
9	北海道	23機関	17	宮崎県	13機関	32	島根県	8機関	43	高知県	4機関
9	福岡県	23機関	22	岩手県	11機関	32	長崎県	8機関	43	大分県	4機関
11	広島県	20機関	22	宮城県	11機関	32	熊本県	8機関	47	青森県	3機関
12	長野県	19機関	22	新潟県	11機関	32	沖縄県	8機関			

4種類のデータ（令和元年7月末時点）

レファレンス事例



事業の参加館で行われた
レファレンスサービスの
記録（約217,000件）

調べ方マニュアル



特定のテーマやトピック
に関する情報源の探し方
を説明した情報
（約11,000件）

特別コレクション



個人文庫など参加館が所
蔵する特別コレクション
に関する情報（約600件）

参加館プロフィール



参加館の連絡先やサービス
内容などについての情報
（818件）

■ レファ協における「レファレンス」とは？

“この事業では、利用者が何らかの情報または資料を求めて図書館員に寄せた質問を、すべてレファレンス質問と位置付けています。”

(データ作成・公開に関するガイドラインより)

- ・ レファ協でいう「レファレンス」は広範囲
- ・ レファレンスは、すべてが図書館の資源！

例えばこんなレファレンスが... (レファレンス事例)

- 事実調査

映画「ローマの休日」の、日本での初公開は1954（昭和29）4月21日に佐世保であったが、その公開期間を知りたい。（略）（佐世保市立図書館）

- 読書案内

もっとちゃんとした文章が書けるように大人の小説が読みたい。（神奈川県学校図書館員研究会）

- 利用案内

香川県立図書館からの相互貸借資料は、県内市町の図書館へ、いつ発送しているのか？（香川県立図書館）

データを見てみましょう（レファレンス事例）

鎌倉時代の日常生活におけるあいさつは、どのようなものだったか知りたい。
（埼玉県立久喜図書館）

http://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000245389

[トップ](#) > [詳細検索](#) > [検索結果一覧](#) > [レファレンス事例詳細](#)

[◀検索結果一覧へ戻る](#)

レファレンス事例詳細(Detail of reference example)

[転記用URL] http://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000245389

[前のデータへ](#) [次のデータへ](#)

提供館 (Library)	埼玉県立久喜図書館 (2110009)		管理番号 (Control number)	埼久-2018-058	
事例作成日 (Creation date)	2018年03月22日	登録日時 (Registration date)	2018年11月08日 09時53分	更新日時 (Last update)	2019年02月27日 15時11分
質問 (Question)	鎌倉時代の日常生活におけるあいさつは、どのようなものだったか知りたい。				

データを見てみましょう（レファレンス事例）

回答
(Answer)

下記の資料を紹介した。

前田富祺著「あいさつ言葉の歴史」（『日本語学 1985年8月号』p79-89 明治書院 1985）

p83-85 「極楽寺殿御消息」「古今物語集」等の記述から、中世の挨拶について推測している。「中世は、“ものまう”“まうし”“さらば”“かたじけない”などの、あいさつ言葉が一般的に使われるようになってきたことが注目される」とあり。参照資料は誌面の関係から柳田国男「毎日の言葉」のみを挙げている。

小林千草著「中世武家のあいさつことば」（『國文學：解釈と教材の研究 1999年5月』p55-60 學燈社 1999.5）

p56 狂言を参考に、平和な状況下での名乗りの方法や、友の家を尋ねたときの挨拶など、中世における挨拶例とその解説あり。参考資料に「大蔵虎明本狂言台本（臨川書店刊複製、表現社刊翻刻）」とあり。

1 NDC分類〈810〉（日本語）の棚の、中世の言語について書かれていそうな資料を確認する。

『あいさつ語辞典』（奥山益朗編 東京堂出版 1985）

全編にわたって、各あいさつの言葉とその解説、出典が書かれている。年代の説明等はないが、p72「沙汰」の出典として宇治拾遺物語が挙げられるなど、鎌倉時代に用いられていた語も掲載されている。

『講座日本語の語彙 第10巻 語誌』（佐藤喜代治編 明治書院 1983）

p142 「さようなら」の項に「別れのことばとしての「さらば」は平安時代にはまだ稀であったが、中世以降次第に多くなり、室町時代・江戸時代にはもっと一般的になる」とあり。

2 《国会図書館サーチ》（<http://iss.ndl.go.jp/> 国会図書館）を〈中世 & あいさつ〉〈中世 & 口語〉で検索する。

小林千草著「中世武家のあいさつことば」（回答資料）

3 《CiNii Articles》（<http://ci.nii.ac.jp/> 国立情報学研究所）を〈あいさつ言葉〉で検索する

倉持益子著「あいさつ言葉の変化」（『明海日本語 18増刊』p259-284 明海大学日本語学会 2013）

《国会図書館デジタルコレクション》（<http://dl.ndl.go.jp/> 国会図書館）でインターネット公開されている（<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/10305401>）。

「日本で最も早く定型化したのは、別れの言葉であるといわれる。それは平安時代に使われるようになった「さあはば」から成った「さらば」である可能性が高い。（中略）「別れの時のあいさつ言葉は比較的早

回答プロセス
(Answering process)

データを見てみましょう（レファレンス事例）

事前調査事項 (Preliminary research)					
NDC	日本語 (810 9版)				
	語彙 (814 9版)				
参考資料 (Reference materials)	『日本語学 1985年8月号』 (明治書院 1985.8)				
	『國文學 解釈と教材の研究 1999年5月』 (學燈社 1999.5)				
キーワード (Keywords)	鎌倉時代				
	日本語				
	言葉				
照会先 (Institution or person inquired for advice)					
寄与者 (Contributor)					
備考 (Notes)					
調査種別 (Type of search)	文献紹介	内容種別 (Type of subject)	言葉	質問者区分 (Category of questioner)	図書館
登録番号 (Registration number)	1000245389	解決/未解決 (Resolved / Unresolved)	解決		

レファ協データの
「いいところ」は？



くわしい回答プロセス

【調査戦略】

国立国会図書館リサーチナ

「何を・どのように調べたか」がわかる
= 類似調査に役立つ！

【回答プロセス】

① 図書の調査

電話機が出来た頃からのデータであるので電話の歴史も交えて体系的にまとめられた図書資料を調べ、まず参考となる資料がないか蔵書検索してみる。本学OPACでキーワード「歴史 電話機 価格」で検索すると、『電信電話事業史』『日本電信電話公社二十五年史』の関連資料がヒットするが、通信史、固定電話機の生産数や販売数についての内容であり、本体や単体での価格の掲載はなかった。和書コンテンツでも同じキーワードで検索すると、ヒットはあるが、どれも本体価格の内容ではな

② 調査方法や類似案件の確認

国立国会図書館リサーチ・ナビを参考に調査。まず、情報通信機器産業（パソコン・携帯電話など）の調べ方、統計が2件ヒットするが、電話機本体価格や料金とは異なる。しかし、「商品の価格の調べ方・自動車 天気機器 電子部品」「一般機械産業に関する主要統計資料」などを参考に調査

電話機(本体)の料金の歴史について知りたい。できれば電話機が出来たときからのデータを、固定電話・携帯電話共に欲しい。特に1978年頃～現在のデータがほしい。(立命館大学図書館)

http://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000090919

■ 『電子機器年鑑』(本学所蔵1997-2011+)

出典が明らか

参考資料が示されている = 検証可能！

電信電話年鑑/

電信電話事業史

日本電信電話公社二十五年史/ 日本電信電話公社二十五年史編集委員会[編](NICD=BN01592534)

NTTグループ社史:「1995～2005」 / 情報通信総合研究所[編](NCID=BA76208090)

電子機器年鑑/ 中日社 (NCID=AN0221116)

機械統計年報/ 通商産業大臣官房調査統計部[編] (NCID=AN1027838)

国立国会図書館リサーチ・ナビ「情報通信機器産業（パソコン・携帯電話など）について調べるには」
http://mavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-102299.php
(最終アクセス：2011/09/08)

国立国会図書館リサーチ・ナビ「商品の価格・相場の調べ方：自動車、電気機器、電子部品」
http://mavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-102121.php
(最終アクセス：2011/09/13)

国立国会図書館リサーチナビ「一般機械産業に関する主要統計資料」
http://mavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-102612.php
(最終アクセス：2011/09/13)

国立国会図書館リサーチナビ「情報通信機器産業（パソコン・携帯電話など）に関する主要統計資料」
http://mavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-102301.php

参考資料
(Reference materials)

調べ方マニュアル

- リーガル・リサーチ 法情報の調べ方 (近畿大学中央図書館)
- 教科書で習った教材の探し方 (国語) (国立教育政策研究所教育図書館)
- 調べ方の近道案内 38 歌詞・楽譜を調べるには (福岡県立図書館)
- 中・高校生が主役の小説。2012年以降に刊行された新しい本。ライトノベルは対象外。文章がしっかりしており、国語の教材としても使えそうなもの。(神奈川県学校図書館員研究会)



特別コレクション

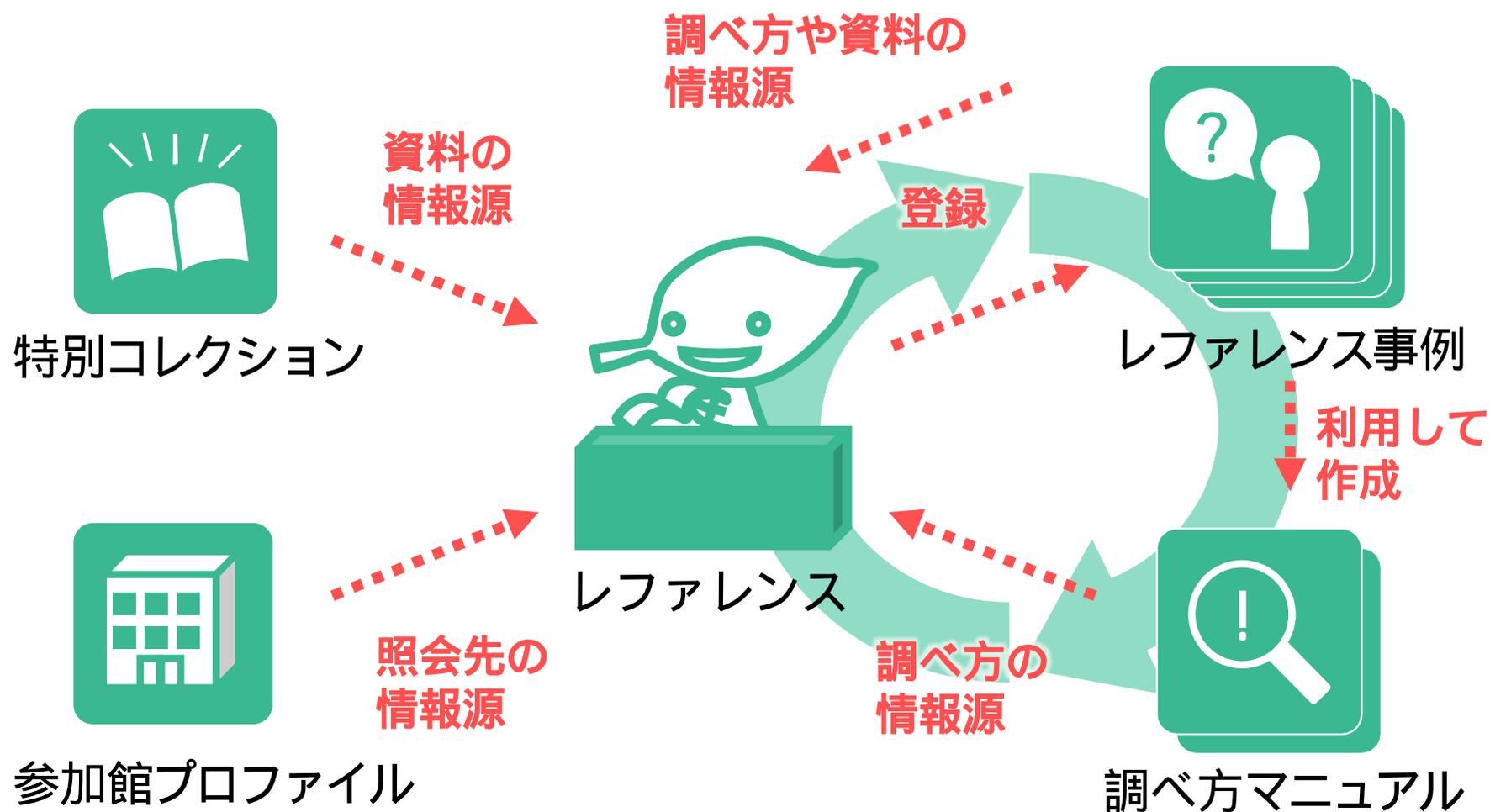
- 震災文庫（阪神・淡路大震災関係資料文庫）（神戸大学附属図書館）
- 戦前主要土木雑誌コレクション（公益社団法人土木学会附属土木図書館）
- 絵はがきコレクション(デジタルアーカイブ)（愛知芸術文化センター愛知県図書館）
- ワインコーナー（塩尻市立図書館）

参加館プロフィール

図書館名 (Library name)	国立国会図書館 (National Diet Library) / 国会図書館 (NDL)
図書館名ヨミ (Pronunciation key)	コクリツコッカイトショカン
住所 (Address)	100-8924 東京都 千代田区 永田町1-10-1
電話番号 1 (Telephone number)	03-3581-2331 (代表)
電話番号2 (Telephone number)	03-3506-3300 (音声・自動応答)
電話番号3 (Telephone number)	
FAX番号 (Fax number)	
E-MAIL	
URL	http://www.ndl.go.jp/
開館情報 (Opening Hours)	国立国会図書館は東京本館、関西館、国際子ども図書館の3つの館でサービスを行っています。それぞれの館についての利用時間や休館日などは以下のサイトでご確認ください。 http://www.ndl.go.jp/
利用条件 (Restriction on use)	国立国会図書館は東京本館、関西館、国際子ども図書館の3つの館でサービスを行っています。それぞれの館についての入館資格などは以下のサイトでご確認ください。 http://www.ndl.go.jp/

レファ協のデータの関係

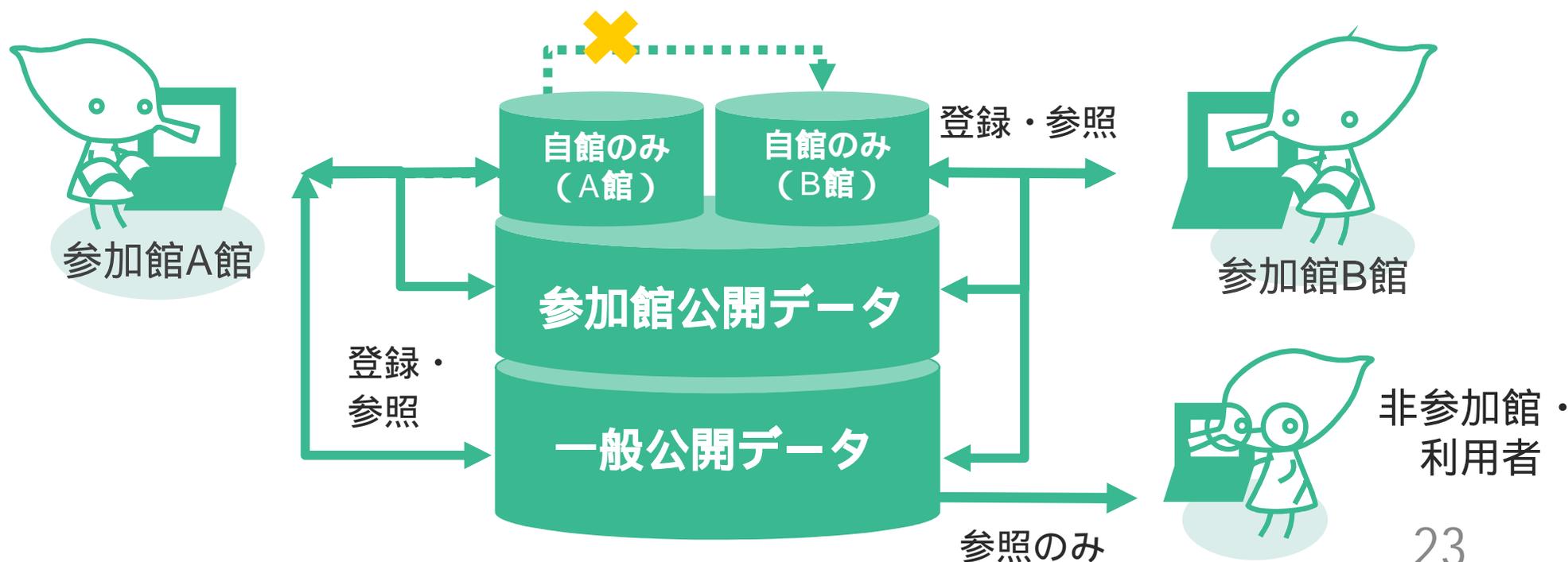
- 4つのデータが有機的に連携し、循環する。



登録データの公開範囲

個々のデータ登録時に設定

- 一般公開：インターネットでだれでも参照可能
- 参加館公開：レファ協参加館の職員のみ
- 自館のみ参照：そのデータを登録した館の職員のみ



レファ協の活用法はいろいろ

自館のみ参照

- 自館内での記録、共有

過去の事例や
他の職員が対応した
事例をすばやく発見
→業務の効率化

人事異動時などの
引継ぎにも

参加館公開

- 他の参加館との共有

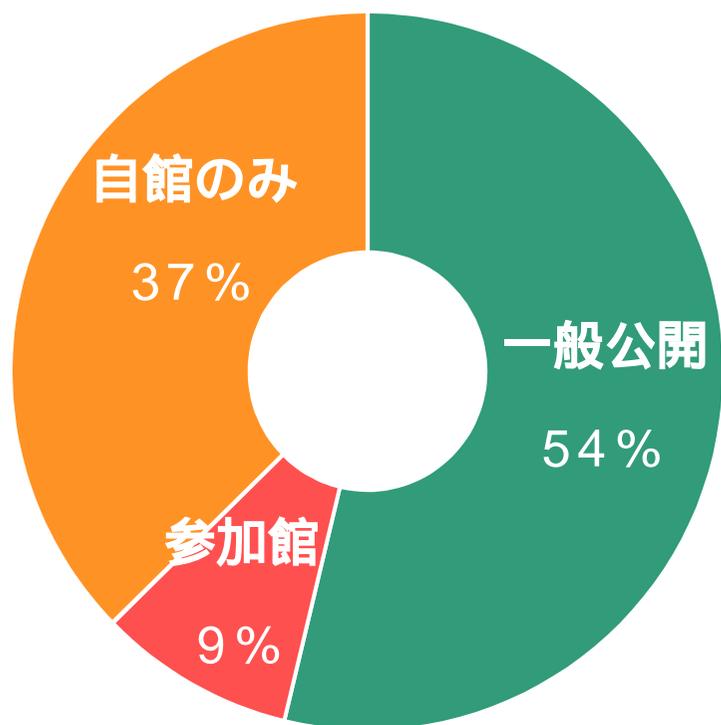
(一般公開はできなくても...)
公開することで、
他の参加館に役立つ
+
情報提供につながる

一般公開

- 他の図書館、一般の方の参考に
- 活動のPR

自館の活動を効果的にアピール！
データそのもの +
統計機能
+
広く情報を呼び込む

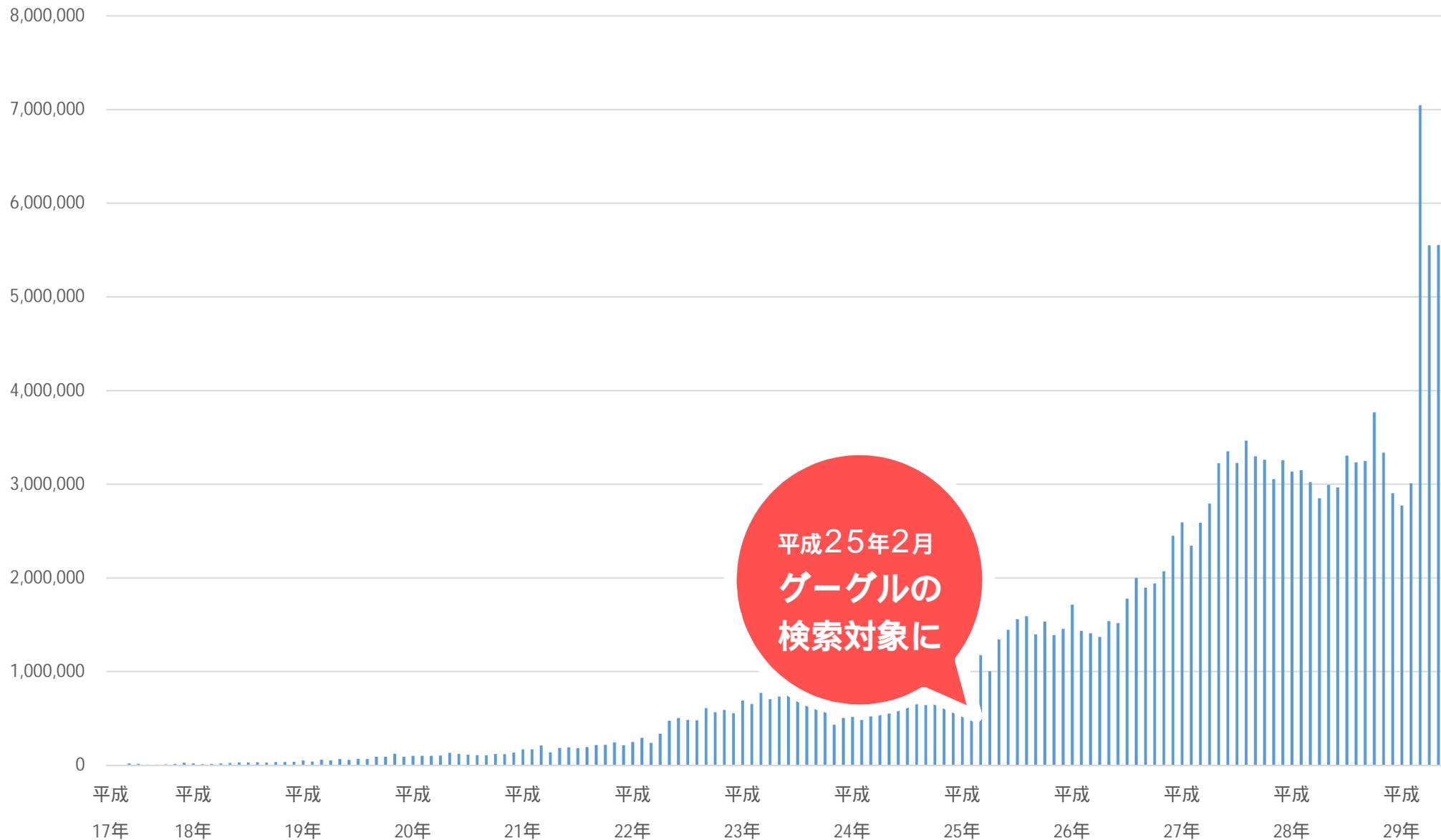
公開レベル別登録データ数（令和元年7月末時点）



● 一般公開	約123,000件
● 参加館公開	約20,000件
● 自館のみ参照	約86,000件
● 合計	約230,000件



アクセス数の推移



平成25年2月
グーグルの
検索対象に

システムの機能

検索に関する機能

- 手動での検索、登録データのダウンロード、検索用API

登録に関する機能

参加館のみ

- 3つの登録方法

参加館支援機能（その他の機能）

参加館のみ

- コミュニケーション：コメント、掲示板、メール配信
- 統計機能：自館や参加館の登録件数、被参照数の算出
- 管理機能：ID/PW管理、館内お知らせなどの編集

レファ協の入口

- 国立国会図書館HPのバナーから
- または「レファ協」で検索

The screenshot shows the homepage of the National Diet Library (NDL) with a search bar and navigation menu. A prominent banner for the 'Collaborative Reference Database Project' (レファレンス協同データベース事業) is visible. Below the banner, there are sections for 'New Information' (新着情報) and 'Library Calendar' (開館カレンダー) for three locations: Tokyo Main Building, Nishi Building, and International Children's Library. At the bottom, there are logos for various services including 'Current Awareness in Biological Sciences' (CABIOS), 'National Diet Library Search', 'Digital Collection', 'Collaborative Reference Database Project', and 'National Diet Library Archives'.

A close-up of the banner for the 'Collaborative Reference Database Project' (レファレンス協同データベース事業). The banner features a green leaf icon on the left and the text 'レファレンス協同データベース事業' and 'Collaborative Reference Database Project' in the center.

トップ画面と3種類の検索方法

The screenshot shows the homepage of the Collaborative Reference Database (レファレンス協同データベース). The header includes a logo of three green leaves and the site title. A 'ログイン' (Login) button is in the top right. The main content area is divided into sections: 'トップ' (Home) with search buttons for '簡易検索' (Simple Search) and '詳細検索' (Detailed Search); 'お知らせ' (Notice) with a maintenance announcement; and 'テーマから探す' (Search by Theme) with a list of NDC categories. A 'Twitter' sidebar on the right shows a tweet from the National Diet Library. A light green box with the text '(ページ中ほど省略)' (Omitted from the middle of the page) is overlaid on the notice and theme sections.

レファレンス協同データベース
Collaborative Reference Database

ログイン

トップ

簡易検索 検索 クリア

ページ表示数 10 25 50 100 200

詳細検索

お知らせ

2019年08月27日 令和元年9月2日(月)19時15分から20時15分頃まで、メンテナンス作業のため、レファ協システムをご利用いただけません(なお、作業終了時刻は前後する可能性があります)。ご不便をお掛けしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

2019年08月21日 令和元年度全国書誌データ・レファレンス協同データベース利活用研修会の配布資料を掲載しました。資料のファ

Twitter

Tweets by @crd_tweet

国立国会図書館 @crd_tweet

菊池一夫の「君の名は」について、ラジオドラマ版、小説版、映画版の発表順を知ることができる資料はないか。(岐阜県図書館)
crd.ndl.go.jp/reference/data

(ページ中ほど省略)

テーマから探す

NDC (101794) 地名 (17680)

すべて開く/閉じる

NDC (日本十進分類法)

0 総記 (6221)

1 哲学 (4898)

2 歴史 (22073)

3 社会科学 (20521)

4 自然科学 (8193)

5 技術 (9167)

6 産業 (7615)

7 芸術 (10895)

8 言語 (3088)

9 文学 (9123)

テーマから探す

江戸時代、店が客に対して無償で傘を貸す「貸し傘」があったのか。

⇒ 新規・更新データRSS配信

RSS 1.0 RSS 2.0

⇒ その他データ一覧

データの検索

- 簡易検索

検索窓にキーワードを入力：4つのデータを一度に検索

<http://crd.ndl.go.jp/jp/help/crds/search.html#chap2-1-2>

ページ表示数 ○10 ●25 ○50 ○100 ○200

[<詳細検索>](#) [レファレンス事例](#) / [調べ方マニュアル](#) / [特別コレクション](#) / [参加館プロフィール](#)

[<登録データ一覧>](#) [レファレンス事例](#) / [調べ方マニュアル](#) / [特別コレクション](#) / [参加館プロフィール](#)

検索窓の下にあるリンクは、**詳細検索（後述）**と**登録データ一覧**



データの検索

レファレンス事例 | 調べ方マニュアル | 特別コレクション | 参加館プロフィール

並び替え: 昇順 降順 表示数: 10 25 50 100 200

検索条件 を含む を含まない

を含む を含まない

を含む を含まない

を含む を含まない

を含む を含まない

項目間を AND条件で結ぶ OR条件で結ぶ

NDC または または を含む を含まない

登録番号

提供館コード と一致する と一致しない

事例作成日 ~

登録日時 ~

更新日時 ~

解決/未解決 解決 未解決

調査種別 文献紹介 事実調査 書誌的事項調査 所蔵調査 所蔵機関調査 利用案内 その他

質問者区分 未就学児 小中学生 高校生 学生 社会人 団体 図書館

内容種別 郷土 人物 言葉 地名

館種

NDL 国立国会図書館 国立国会図書館支部

公共 都道府県立 政令都市立 市立 町村立

大学 国立 公立 私立 高等専門

学校 高等学校 中学校 小学校 その他

専門 国公立 公益法人 企業 その他

アーカイブズ アーカイブズ

● 詳細検索

検索項目を指定・組み合わせで検索

目的や状況に応じて検索結果を絞ることができる

(例)

参考資料

「あの資料を使った事例はある？」

主題×館種

「あのネタ、この館種ではどう答える？」

主題×質問者

「高校生の郷土レファはどう答えてる？」

データの検索

- テーマから探す

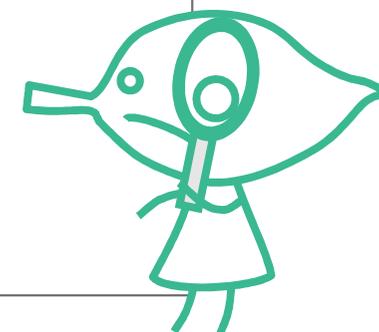
NDCや地名からブラウジング

特定の分野・地域の事例を調べる場合に便利！

NDC(79741)	地名(14511)
すべて開く／閉じる	
NDC(日本十進分類法)	
⊕ 0 総記 (5133)	
⊕ 1 哲学 (3922)	
⊕ 2 歴史 (17606)	
⊕ 3 社会科学 (16150)	
⊕ 4 自然科学 (6092)	
⊕ 5 技術 (6945)	
⊕ 6 産業 (5747)	
⊕ 7 芸術 (8340)	
⊕ 8 言語 (2474)	
⊕ 9 文学 (7332)	

NDC(79741)	地名(14511)
すべて開く／閉じる	
地名	
⊖ 2200000001 地名(日本) (10196)	
.....2200000002 北海道 (111)	
.....2200000003 青森県 (16)	
.....2200000004 岩手県 (78)	
.....2200000005 宮城県 (102)	
.....2200000006 秋田県 (40)	
.....2200000007 山形県 (39)	
.....2200000008 福島県 (81)	

市町村名を
都道府県に分類





レファ協のすすめ

- ▶ 記録することの意味
- ▶ 「レファ協で」記録する

お隣の方と話してみましよう！

あなたの館では...

- 年間どのくらいのレファレンスを受けていますか？
- レファレンスを記録していますか？
- していない場合...その理由は何でしょう？ハードルは？
- している場合...方法は？
その記録は活かせていますか？
活かしている場合、どのように？
活かせていない場合、その理由は？



記録することの意味

- 1 . スキルや役立つ情報の共有化（横の共有）
 - 1人でどこまでやりきれますか？
 - すぐそばに、いつでも尋ねられる人はいますか？
- 2 . レファレンス処理の迅速化（縦の共有）
 - 1回の記録ともう1回やり直すのではどちらが楽？
 - その情報にもう価値はないと言い切れますか？
- 3 . 評価や組織運営のための基礎データ

記録 = 「個人の体験」を「組織の情報」にすること

どのように記録を残すか？

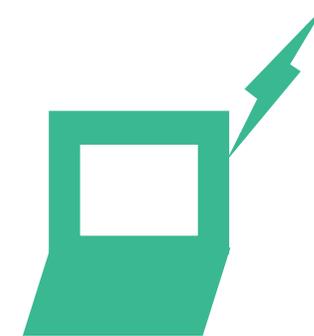
1. 紙で管理をする

- とっつきやすい
- 費用があまりかからない
- 管理が大変。複製・加工しにくい
- 検索にはやや不向き



2. データベースを構築する

- 内容を複製・加工しやすい
- 検索しやすい
- 操作に慣れが必要
- 維持費がかかることが多い



紙で記録を残したけれど...

- 「事例が50件を超え、ノートが複数冊になると、その中から探し出すのが厄介になった。勘と経験に頼ったやり方での対応は困難であること、そして本格的なデータベース化の必要性を痛感した。」

栗屋久子「レファレンスによる広告図書館の発展に向けて」『専門図書館』
2011 No.249 p.43

- 「何十年も紙で記録してきたのに、共通認識は形成されませんでした。（略）10年間の中で同じ事例が3回あったものもありました。そして、何が問題と思ったかと言いますと、回答のレベルが、だんだん落ちていたのです。（略）相当危機感を持ちました。」

パネルディスカッション@第2回レファ協フォーラム

http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/8655425/crd.ndl.go.jp/jp/library/documents/forum_h17_report.pdf

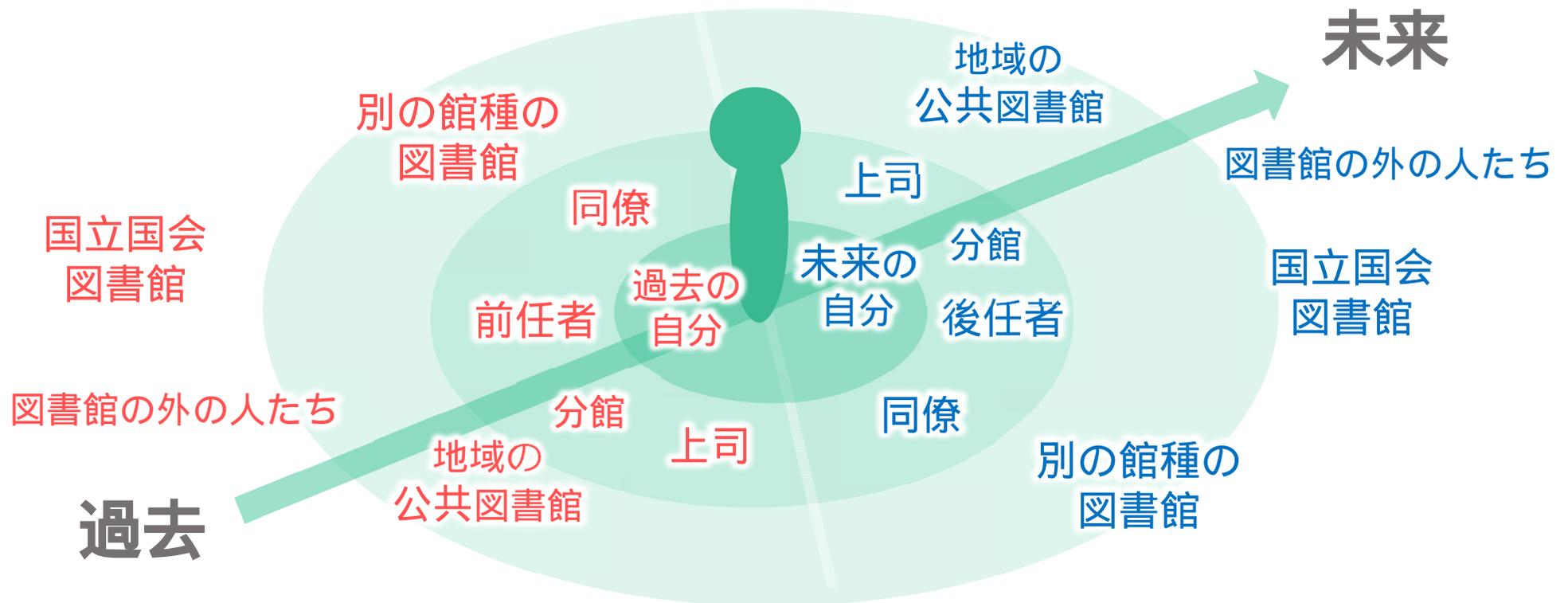


レファ協で記録する、はいかがでしょう？

- 慣れは必要だが、レファレンスを記録するために開発されたデータベースなのである程度使いやすい
- 費用は不要。管理維持は国立国会図書館が行う
- 遠隔 / 複数人の同時利用が可能。
- 複製・加工もしやすい
- 参加館を支援する様々な機能あり
- 他の媒体との併用もしやすい。

レファ協で必要な情報を貯める 共有する

- レファ協は図書館の資源・ノウハウ・経験の「貯金箱」
- 自分たちに役立つ情報は自分たちで貯める
貯まった情報を組織の内外で共有する





レファ協を
使ってみよう

システムの機能

検索に関する機能

- 手動での検索、登録データのダウンロード、検索用API

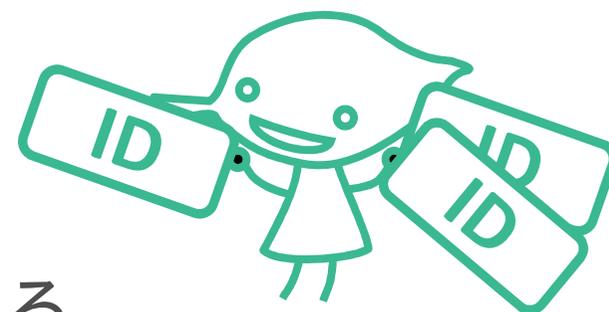
登録に関する機能 **参加館のみ**

- 3つの登録方法

参加館支援機能（その他の機能） **参加館のみ**

- コミュニケーション：コメント、掲示板、メール配信
- 統計機能：自館や参加館の登録件数、被参照数の算出
- 管理機能：ID/PW管理、館内お知らせなどの編集

■ ユーザの種類



- 一般利用者（ログイン不要）
 - 一般公開のデータを検索して参照できる
- 参加館の職員（3種類のIDのどれかでログイン）
 - 検索用ID：+ 一般 / 参加館公開のデータを検索・参照
+ 参加館のコミュニケーション機能
 - 登録用ID：+ データの登録（「自館のみ参照」のみ）
 - 管理用ID：+ データの管理
データの公開範囲変更や削除が可能

ログイン後のトップページ（管理用IDの場合）



レファレンス協同データベース

Collaborative Reference Database

ログアウト

ID : 100000000001 [レファ協事務局 \(管理用\)](#)
[What's CRD? \(English\)](#)

[新規登録](#) | [自館データ](#) | [アップロード](#) | [自動取得](#) | [コメント](#) | [掲示板](#) | [統計](#) | [ID・PW変更](#) | [館内お知らせ編集](#) | [館内作業メモ編集](#)

自館データ

- 【作業中】文献リスト
- ライブラリアンシップ賞表彰状
- てすと

[一覧へ](#)

コメント

- この事例をレファレンスに活用させていただきました。ありがとうございます....[回答済]
- 課長にも報告終わりました。[回答済]
- コメント[回答済]

トップ

ページ表示数 10 25 50 100 200

[<詳細検索>](#) [レファレンス事例](#) / [調べ方マニュアル](#) / [特別コレクション](#) / [参加館プロフィール](#)

[<登録データ一覧>](#) [レファレンス事例](#) / [調べ方マニュアル](#) / [特別コレクション](#) / [参加館プロフィール](#)

お知らせ（館内）

Twitter

Tweets by @crd_tweet

 **国立国会図書館!**
@crd_tweet

メロンの病気について載っている本はあるか。（函南町立図書館）
crd.ndl.go.jp/reference/deta

...

 **メロン...**
レファ...
crd.ndl

データ登録：3つの方法

- a. ウェブフォームから手動入力
- b. ファイルをアップロード
- c. システムが自動で取得



■ ウェブフォームからの手動入力

- 1 .
ログイン後の画面で「新規登録」をクリック



■ ウェブフォームからの手動入力

- 2 . 必要な項目を入力して「登録」をクリック

レファレンス事例新規登録 ヘルプ 入力欄ヘルプ

登録 クリア

レファレンス事例	調べ方マニュアル	特別コレクション
【必須】 管理番号 ?	れはっち01 【最後に入力された管理番号：自館関連ファイル】	
公開レベル ?	<input type="radio"/> 一般公開 <input type="radio"/> 参加館公開 <input checked="" type="radio"/> 自館のみ参照	
【必須】 質問 ?	学校図書館は単館でレファレンス協同データベース事業に参加できるか。	
回答 ?	平成25年度より学校図書館の参加が可能になっています。 事業の参加資格について定めた「国立国会図書館レファレンス協同データベース事業参加規定」の第1項(4)では学校図書館の参加資格について以下のように定められています。 「学校図書館法(昭和28年法律第185号)第2条の学校図書館を設ける学校又は学校図書館関係者を会員とする、学校図書館の運営若しくは技術について研究若しくは研修の活動を行っている団体(以下「学校図書館関係団体」という。)」 レファレンス協同データベースの「事業に参加するには」を参照した。	

■ ウェブフォームからの手動入力

- 3 . データが登録されました！
更新には「更新画面へ」をクリック

レファレンス事例詳細(Detail of reference example)

[転記用URL] http://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000260638

更新画面へ

ダウンロード

削除

提供館 (Library)	国立国会図書館レファレンス協同データベース事業事務局 (100000)	管理番号 (Control number)	れはっち01		
事例作成日 (Creation date)		登録日時 (Registration date)	2019年08月30日 15時09分	更新日時 (Last update)	2019年08月30日 15時09分
公開レベル (Access level)	自館のみ参照				
質問 (Question)	学校図書館は単館でレファレンス協同データベース事業に参加できるか。				
	平成25年度より学校図書館の参加が可能になっています。				
	事業の参加資格について定めた「国立国会図書館レファレンス協同データベース事業参加規定」の第1項(4)では学校図書館の参加資格について以下のように定められています。				

ファイルのアップロード

1



「アップロード」をクリック

「参照」でアップロードするテキストファイル（XMLかCSV）を選択する

他の項目も確認し「送信」をクリック

エラーがなければ翌朝に反映される。結果はメール通知が来るほか、処理予定・処理結果一覧画面で確認できる。

2

ファイルアップロードによる一括登録 ヘルプ

処理予定・処理結果へ

ファイル ※ XMLファイル(xml)かCSVファイル(csv)のいずれかです。大小文字の違いは無視されます。参照

ファイルタイプ XML(UTF-8) CSV(Shift-JIS) CSV(UTF-8)

CSVファイルに関する指定

データ種別 レファレンス事例 調べ方マニュアル 特別コレクション

項目の並び順 標準フォーマット順 独自の並び順 項目順設定
※ 独自の並び順のデータを登録する場合は、項目順設定で並び順を指定してください。
(前回と同じ並び順の場合は、設定が保持されているので項目順設定は不要です。)
※ 標準フォーマット順について

開始行 例) タイトル行が無い場合は「1」、タイトル行が1行ある場合は「2」

※ データチェックは「送信」ボタン押下後に実行されます。
※ 登録処理は夜間から早朝にかけてバッチ処理で実行されます。

送信

更新の場合は上書きに注意！
(管理番号で同定します)

4

アップロード処理予定・処理結果一覧 ヘルプ

アップロードへ

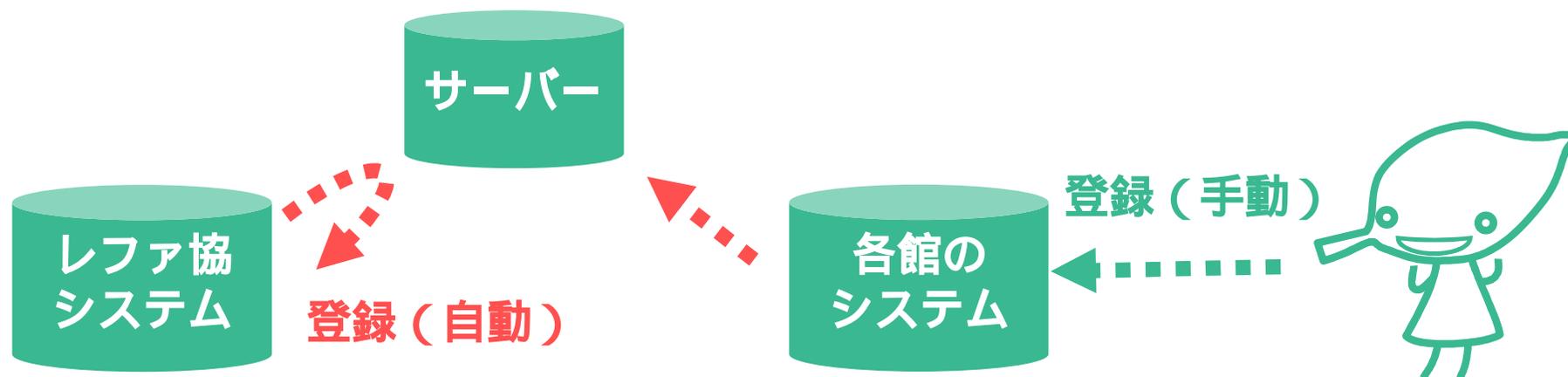
※ 処理結果は90日間表示されます。
※ データと警告データ:エラーデータはデータベースに登録されません。警告データはデータベースに登録されますが、注意メッセージがあります。(いずれもログを確認してください)

送信時間	送信ユーザ	処理状況	操作
2015/05/21 19:02:59	レファ協事務局	登録処理済み エラーデータあり	ログ表示 処理ファイルダウンロード

3

システムから自動で取得

- 参加館がインターネット上に置いた登録用ファイルを自動でレファ協システムが取りに行き、登録
- 各館のシステム側での設定が必要



データの構造：標準フォーマット

- データ作成・公開に関するガイドライン

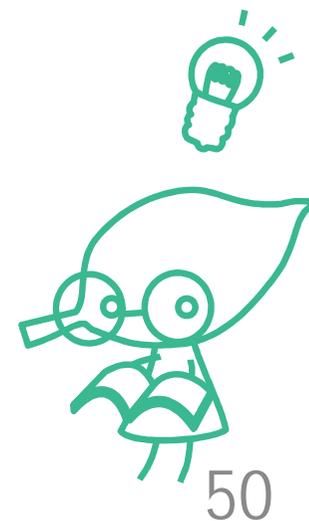
<http://crd.ndl.go.jp/jp/library/guideline/index.html>

マニュアルや規則ではなく、考え方や指針を示すもの

レファレンス協同データベース標準フォーマット

フォーマットを理解すると...

- データが検索で見つかりやすくなる
- 効率よいデータ作成ができる



レファレンス事例：中核的な情報

中核的な情報

質問

回答

事前調査事項

回答プロセス

参考資料

照会先

寄与者

付加的な情報

事例作成日	キーワード
NDC/NDCの版	調査種別
内容種別	解決・未解決
質問者区分	備考
	ローカル項目

データの管理情報

管理番号 公開レベル

システムの管理用項目

登録番号	最終更新日時
登録日時	参加館ID

供給館 (Library)	国立国会図書館 (National Diet Library) (1110001)		管理番号 (Control number)	A140426111519	
例作成日 (Creation date)	2014-04-29	登録日時 (Registration date)	2014年05月22日 00時30分	更新日時 (Last update)	2014年05月22日 00時30分
公開レベル (Access level)	一般公開				
説明 (Description)	<p>次の記事の掲載ページの調査をお願いします。</p> <p>「レコード芸術」1996年7月号 インタビュー記事 マリア・ショアン・ピリス(ピアニスト) (インタビューアー:浜田滋郎)</p> <p>ご指定の資料を確認しました。ご照会の記事の書誌事項は以下のとおりです。</p> <p>記事名 今週のアーティスト マリア・ショアン・ピリス インタビュー・文 濱田滋郎</p> <p>当館請求記号 Z11-321 タイトル レコード芸術 出版事項 東京：音楽之友社 巻号年月 45(7) 通巻550号 1996.7 掲載ページ pp.15-20(カラーページです)</p>				
備考 (Remarks)					
調査種別 (Type of search)	内容種別 (Type of subject)	質問者区分 (Category of questioner)			
登録番号 (Registration number)	1000153613	解決/未解決 (Resolved / Unresolved)	解決		
ローカル項目					

レファレンス事例：中核的な情報

• 質問

検索結果などで最初に表示される「事例の顔」

質問
(Question)

過去に豊中市寺内にあった「サボテン公園」が、

- ① 開園していた時期
- ② 開園していた頃の施設の様子
- ③ 閉園後、跡地は福祉施設になっているがこの時の経緯について知りたい。

レファレンス事例（豊中市立図書館）http://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000253774

• 回答

利用者に求められたことに対しどのように対応したか
未解決のときも「回答」として登録できる

■ レファレンス事例：中核的な情報

- 回答プロセス
- 調査のプロセス。情報がなかった資料も記載を
- 改行、参考資料のナンバリングなど読みやすく

Q. どの程度くわしく？

A. 「**他の人がその調査を再現できる**」ことが目安。
ただし、適宜簡略化してもOK

Q. 「回答」との書き分けは？

A. 書き分けにくければ「回答」にまとめてもOK

レファレンス事例：中核的な情報

- 参考資料
- 回答の情報源
- 資料を特定できる形で記載（正確なタイトル、版、出版年、出版者...）



Q. 参照したが、情報がなかった資料は？

A. 回答プロセスへ（「なかった」ことも大事な情報）

Q. インターネット情報源を用いた場合の注意点は？

A. ページの名称、URL、**最終確認日**などを必ず記入
リンク切れ予防のために、WARPも活用ください

（WARP = 国立国会図書館インターネット資料収集保存事業）

便利な機能 1 : 参考資料の自動入力

1

資料検索 入力補助

書誌的 著作権台帳
事項

ISBN 備考

資料検索 入力補助

書誌的

3

資料検索 入力補助

書誌的 日本著作権協議会 編 , 日本著作権協議会 . 著
事項 http://iss.ndl.go.jp/books/R100000001-I0539

ISBN 備考

資料検索 入力補助

書誌的

2

No.	資料種別	書誌的事項
反映		日本著作権協議会 編 , 日本著作権協議会 http://iss.ndl.go.jp/books/R100000001-I0539
2	図書	日本著作権協議会 [編] , 日本著作権協議 http://iss.ndl.go.jp/books/R100000074-I0004
反映	3	日本著作権協議会 編 , 日本著作権協議会 http://iss.ndl.go.jp/books/R100000001-I0539
反映	4	日本著作権協議会 編 , 日本著作権協議会 http://iss.ndl.go.jp/books/R100000001-I0539
反映	5	図書 著作権台帳 : 文化人名録 21版. 1991. http://iss.ndl.go.jp/books/R100000001-I0539

入力画面で、参考資料の箇所にある書誌的事項にキーワードを入力し「資料検索」をクリック

検索結果一覧の中から使用した資料と同じものを選んで「反映」をクリック

選択した資料の情報が自動で入力されるのを確認する。

便利な機能 2 : 参考資料の入力補助

1



資料検索 入力補助

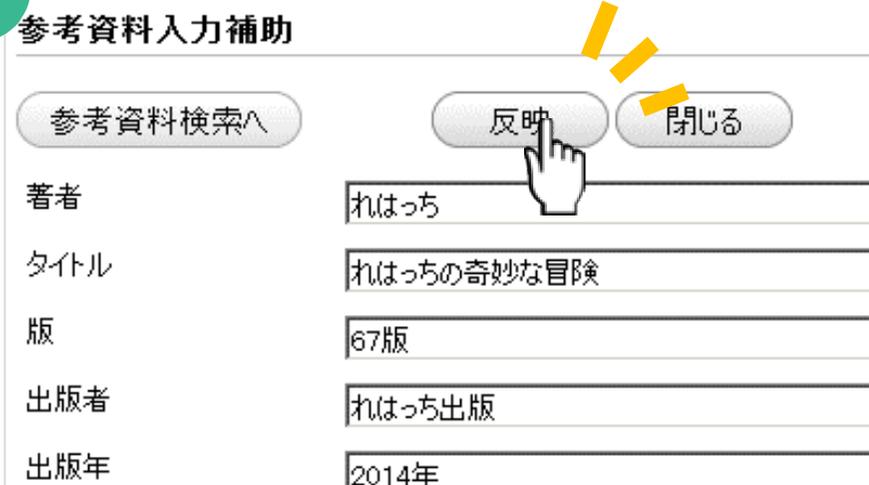
書誌的
事項

ISBN 備考

資料検索 入力補助

書誌的

2



参考資料入力補助

参考資料検索へ 反映 閉じる

著者 れはっち

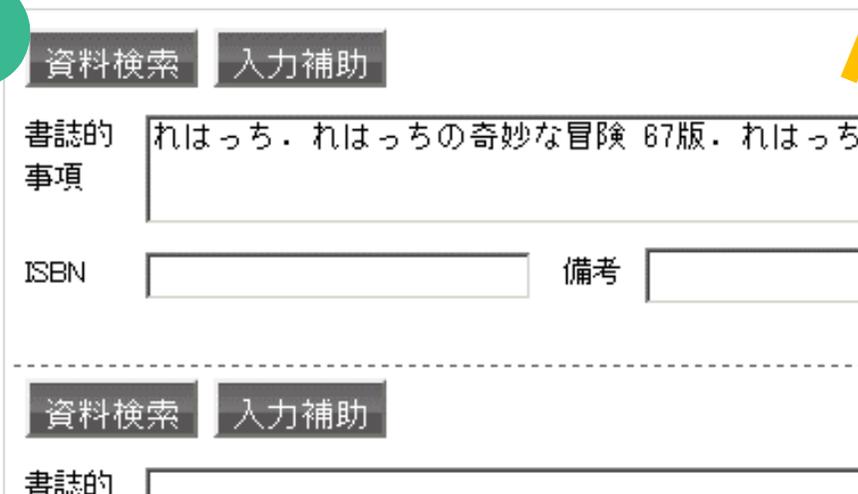
タイトル れはっちの奇妙な冒険

版 67版

出版者 れはっち出版

出版年 2014年

3



資料検索 入力補助

書誌的
事項 れはっち. れはっちの奇妙な冒険 67版. れはっち

ISBN 備考

資料検索 入力補助

書誌的

入力画面で、参考資料の箇所にある「入力補助」をクリック

入力補助画面の各項目に該当資料の情報を入力し、「反映」をクリック

選択した資料の情報が自動で入力されるのを確認する。

レファレンス事例データ：データの管理情報

管理番号

- ▶ 各館で設定するデータのID。
館内で重複したものはつけられない
- ▶ 登録日+連番、内容分類、分館名など
- ▶ 15文字以内（全角・半角問わず）

管理番号 (Control number)	右中-郷土-106
--------------------------	-----------

公開レベル

- ▶ 自館のみ参照（作成館IDでログインしたユーザのみ）
- ▶ 参加館公開（レファ協にログインしたユーザのみ）
- ▶ 一般公開（ウェブ上で公開・検索エンジンも収集可）

■ データ公開の条件

個人のプライバシーが尊重されていること

質問者の特定につながる恐れがないこと

差別表現等の点で問題がないこと

必読！

データ作成・公開に関するガイドライン

http://crd.ndl.go.jp/jp/library/guideline/data_open.html#chap4-2

参加館通信（号外_ご注意ください！レファ協の登録データにおける個人情報の扱いについて） 要ログイン：参加館ページの掲示板に掲載

https://crd.ndl.go.jp/reference/modules/d3forum/index.php?topic_id=5274

事例の一般化はどうしたら？

- 田子環氏（神奈川県学校図書館員研究会）

「一般公開するにあたって、記述はかなり削って、質問の内容や、どういうふうに回答したかというところだけを載せるように配慮しています。（略）今のところ特に明文化したルールがあるわけではなく、レファ協全体の、個人は特定できないようにというガイドラインに従っています。普段はレファレンス委員会のメンバーが手分けして事例を登録するのですが、悩んだり、この記述はどうか、というケースがあった場合は6人で相談して、「これは削っておこう」とか、「このくらいなら、残していいのでは」というやり取りをしています。」

『第10回レファレンス協同データベース事業 フォーラム記録集』

http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/8655425/crd.ndl.go.jp/jp/library/documents/forum_h25_report.pdf

便利な機能 4 : 関連ファイルの登録

関連項目: 参考資料

タイトル: れはっちペーパークラフト

説明文: れはっちのペーパークラフト

ファイル: D:\#れはっちペーパークラフト.pdf

関連ファイルのアップロード

調べ方マニュアルに関連づけられた「PDF」「Wr
ファイル本文が検索対象となります(簡易検索)

項目名

1

参考資料
(Reference materials)

れはっちペーパークラフト

れはっちのペーパークラフト

キーワード

各館作成のパスファインダーのPDFファイル等をそのままアップロードできます！

新規登録画面「関連ファイル」にある「関連項目」等に情報を記入する。

「参照」をクリックして、アップロードしたいファイルを選択する。

「関連ファイルのアップロード」をクリックする。

調べ方マニュアルのデータを登録すると「関連項目」で指定された箇所にファイルへのリンクが表示される。

レファレンス事例や特別コレクションもファイルの登録が可能ですが、本文を検索できるのは調べ方マニュアルだけです。

特別コレクションデータ

中核的な情報

コレクション名
 //ヨミ
 内容
 来歴
 所蔵点数
 継続

付加的な情報

紹介文献	NDC
目録等	キーワード
利用条件	備考

データの管理情報

管理番号	公開レベル
------	-------

システムの管理用項目

コレクションID	最終更新日時
登録日時	参加館ID

貴重書でなくても！
 ビジネス支援コーナー、
 闘病記文庫、夏休み自由
 研究支援コーナー etc.

種別	農作物種別1号の表示及び目次
種別番号	00000001
種別名	農作物種別1号の表示及び目次
種別説明	旧蔵書目録に収録された資料をPDFでデジタル化し、CD-ROMで収録していたものを、デジタル化された資料をPDFで公開する。公開先は、 http://www.riho.or.jp/Agro0001/ で公開。
種別URL	農研機構研究結果ウェブサイト (http://resd.agword.agropedia.affrc.go.jp/content/riho/riho_agro0001.html) 上で公開。
種別利用	第1号から第10号のGETIDまで収録
種別状態	常
種別継続	常
NDC	
キーワード	
備考	
コレクションID	00000001

参加館プロフィールデータ

中核的な情報

図書館名
図書館名(略)
図書館名ヨミ
郵便番号
住所
電話番号(1~3)
FAX番号
E-Mail(管理者)
E-Mail(未解決事例通知)

付加的な情報

開館情報	特色
交通アクセス	利用条件
注意事項	URL
沿革	ISIL

データの管理情報

図書館ID **公開レベル**

システムの管理用項目

登録番号
登録日時
最終更新日時

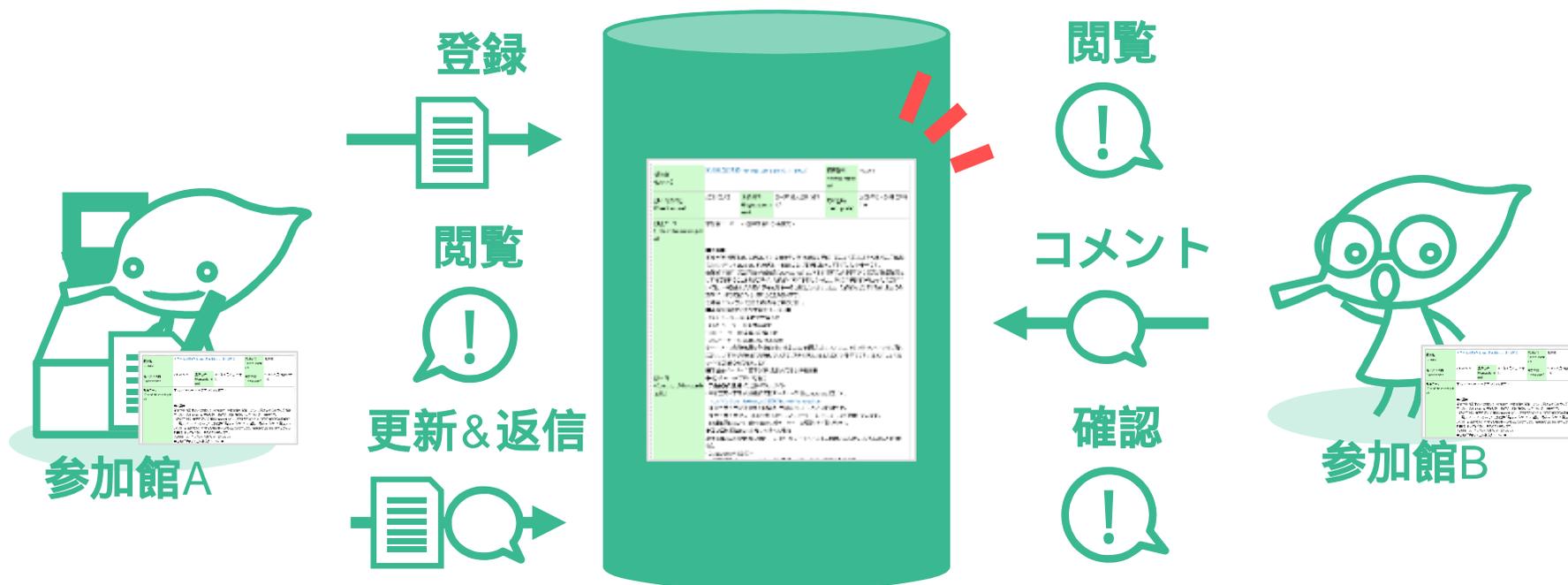
**参加館の窓口
 更新・修正は
 こまめに！**

1110001	データ
2004年03月06日	
	国立国会図書館
	コクリツコックサイト
100-8924	東京都千代田区永田町
03-3581-2331	(代表)
13-3506-3300	音声・自動応答
<p>dl.go.jp/</p> <p>、書館は東京本館、関西館、国際子ども図書館の3つの館でサービスを行っています。それぞれの利用時間や休館日などは以下のサイトでご確認ください。 http://www.ndl.go.jp/</p> <p>会図書館は東京本館、関西館、国際子ども図書館の3つの館でサービスを行っています。それぞれの入館資格などは以下のサイトでご確認ください。 http://www.ndl.go.jp/</p> <p>立国会図書館は東京本館、関西館、国際子ども図書館の3つの館でサービスを行っています。それぞれの館についての沿革は以下のサイトでご確認ください。 http://www.ndl.go.jp/</p> <p>国立国会図書館は東京本館、関西館、国際子ども図書館の3つの館でサービスを行っています。それぞれの館の所蔵資料やサービスなどについては以下のサイトでご確認ください。 http://www.ndl.go.jp/</p> <p><個人の方へ>個人の方からの文書(電子メール、FAX、郵送)によるレファレンスには応じておりません。お近くの公共図書館や大学図書館にご相談いただき、回答が得られなかった場合は、その図書館を通じて国立国会図書館に対してレファレンスを申し込むことができます。まずはお近くの図書館や所属の大学図書館にご相談ください。</p> <p><図書館員の方へ>インターネットによるレファレンス・サービスは登録制です(登録対象は図書館等の機関)。詳細は以下のページでご確認ください。 http://nnavi.ndl.go.jp/reference_login/ http://www.ndl.go.jp/「図書館員のページ」>「サービス」>「レファレンス」</p> <p>国立国会図書館は東京本館、関西館、国際子ども図書館の3つの館でサービスを行っています。それぞれの館への交通手段については以下のサイトでご確認ください。 http://www.ndl.go.jp/</p> <p>JP-1000001</p>	

参加館支援機能

• コメント機能

- コメントの交換で登録データをブラッシュアップ！
- 記入：データ詳細画面 確認：トップ画面「コメント」



参加館支援機能

- メール通知機能

- 未解決事例の登録時とコメント到着時
- 未解決事例の配信はメールアドレスを登録した館のみ



参加館支援機能

- 統計機能
 - 登録件数 = 図書館がどれだけ活動したか？
 - 被参照件数 = その活動の成果がどれだけ届いたか？
- レファ協の統計機能の特徴
 - 統計が必要な度に地域や館種、機関を細かく設定して表示できるので、別の時期や他機関との比較が可能
 - 表示した統計表はテキストデータ（CSV）でも出力が可能なので、編集や加工がしやすい

■ お隣の方と話してみましよう！

レファ協に参加することをイメージして...

(すでに参加館の場合は、現状を思い浮かべて)

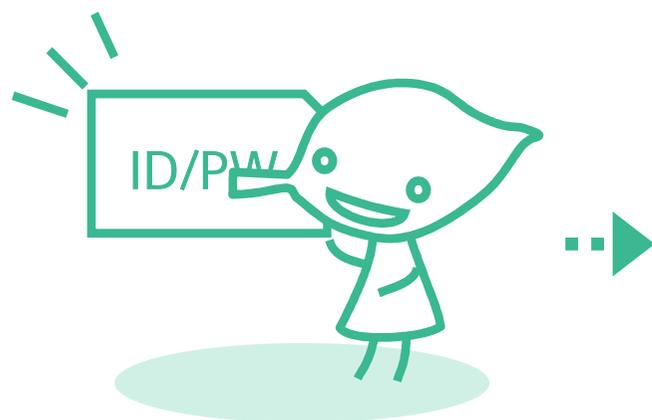
- レファ協でレファレンスを記録するメリットは？
- 反対に、気がかりな点は？
- レファ協でレファレンスを公開するメリットは？
- 反対に、気がかりな点は？



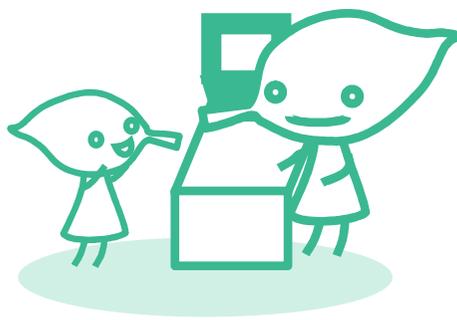
■ 運用の方法をイメージしてみる

- 基本的な流れはシンプル
 - 記録 レファ協へ登録 レファ協で公開
 - 運用のポイントは「記録する範囲」「レファ協に登録する範囲」「レファ協で公開する範囲」をどう決めるか
- 業務の中でどう位置づける？
 - 「プラスアルファの負担」ではなく「省力化」のためにレファ協を使う
 - 人が代わっても持続可能なしくみ
 - 業務の流れに組み込む / マニュアル、文書

記録のしかた その1：レファ協をメインに記録



(1) ID/PWの周知
登録のためIDをレ
ファレンス担当者全
員に周知



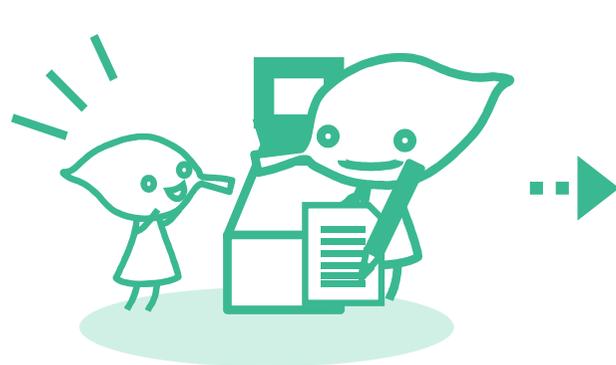
(2) データ登録
ウェブフォームで随
時登録更新。最初は
自館のみ公開で登録



(3) フォロー
自身/職員同士で
チェックして公開範
囲を拡大へ

状況を随時共有できる
正確な統計（ダブリ防止）
二度手間にならない

記録のしかた その2：他のしくみと併用



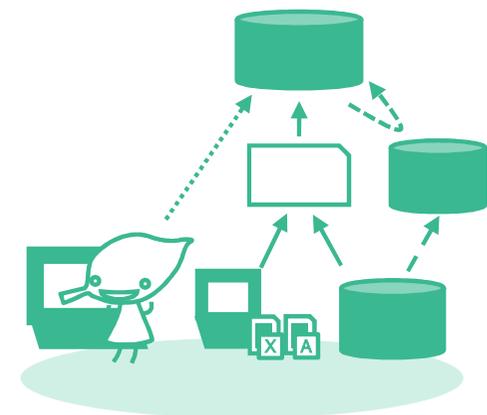
(1) 事例の登録

随時、レファレンス事例を管理簿や独自データベースに登録



(2) 選定

レファ協に登録する
または公開する事例
を選定



(3) 登録

ファイルアップロードや自動取得などで
登録・公開する。

これまでのやり方になじみやすい

カスタマイズしやすい

■ 運用の方法を考える：参考事例

- 岐阜市立図書館の事例@第7回フォーラム
 - レファ協の入力項目を参考にして処理票を作成
http://crd.ndl.go.jp/jp/library/forum_7.html
- 豊中市立図書館の事例@第10回フォーラム
 - 業務システムに登録後、月に一度レファ協に登録
http://crd.ndl.go.jp/jp/library/forum_10.html
- 尼崎市立地域研究史料館@第9回フォーラム
 - 業務システムに登録後、2週間に一度レファ協に登録
http://crd.ndl.go.jp/jp/library/forum_9.html

■ 運用の方法を考える：実践のために

- あらかじめ決めておくべきこと
- 管理番号の採番ルール
- 作業フロー、職員の役割分担と使用するID
- 登録・公開のポリシー
- ローカル項目などの運用方法

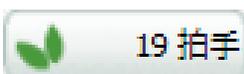


4

図書館の活動を
届けるために

「レファ協で」公開する意義

- 図書館関係者や常連さん（利用者）だけではなく、図書館にあまり関心のない人にも届けるには？
- 統計機能：数字で見える！
- 数の力・SNS連携
 - 818本の矢？ 単独よりも集まった方が目立つ。
 - Twitter、Facebook、Google+ などSNS連携機能。
思いがけないところで、思いがけない人が
レファ協のデータを見つけるかも



レファ協でPR：公開事例をより広く届ける

- 事例一覧へのリンク（赤字は参加館ID）

<http://crd.ndl.go.jp/GENERAL/servlet/list.reference?id=XXXXXXXX>

お問い合わせ先：中央館利用支援担当

[メールフォーム（24時間受付）>>](#)

電話096-342-2243 FAX096-342-2210（受付時間：9：00-16：30 土日祝日を除く）

熊本大学附属図書館は、[国立国会図書館レファレンス協同データベース事業](#)に参加しています。

[熊本大学附属図書館のレファレンス事例（一部）>>](#)

熊本大学附属図書館（質問・調査依頼） <http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/guide/visitor/reference>

- 個別データの固定URLも利用可能

レファ協でPR：公開事例をより広く届ける

• APIを使って自動でデータを表示

➡レファレンス事例集

福井県立図書館が回答した、質問(レファレンス事例)をご紹介します。青字で表示されている質問文をクリックすると、その質問に対する回答・回答にいたるまでのプロセスがご参照いただけます。当館のレファレンス事例は、[レファレンス協同データベース](#)でご覧いただけるほか、Google, Yahoo Japanなどの検索サイトからも探すことができます。

最近のレファレンス事例(更新順)

- [雑誌「NHKためしてガッテン 健康プレミアム」を所蔵しているか。なければ、他の所蔵館を知りたい。勝山市立図書館窓口に受け取りたい。](#)
- [「外国入船ノ内蒸気船」という浮世絵の作者が何代広重か調べてほしい。](#)
- [花の落ちることを落花、葉の落ちることを落葉、雷の落ちることを落雷という。人が馬から落ちるのを何故落馬というか知りたい。](#)
- [昭和20年代から30年代にかけて、小中学校で使われていた教科書が見たい。復刻版でもよい。\(『日本教科書大系 近代編』は所有している。\)](#)

福井県立図書館 レファレンス事例集 http://www.library-archives.pref.fukui.jp/?page_id=154

御礼状・企画協力員賞

・御礼状

データ総登録数、年間登録数、年間アクセス件数のいずれかが一定以上に達した参加館に御礼状を送付（対象期間は1月～12月）

詳しくはこちら 令和元年度 国立国会図書館長からの御礼状送付
http://crd.ndl.go.jp/jp/library/thanks_H30.html

御礼状がきっかけで取材を受けたケースも！



・企画協力員賞

御礼状の基準には当てはまらないが貢献の大きな参加館

レファ協公式Twitterアカウント

@crd_tweetで事例やイベント情報を日々ご紹介

ホーム モーメント キーワード検索 アカウントをお持ちの場合 ログイン

ツイート 35,888 フォロー 24,464 フォロワー 32,538 いいね 1 フォローする

ツイート ツイートと返信 メディア

国立国会図書館レファ協公式 @crd_tweet · 5分
昔、アンデルセンの「ナマリの兵隊」という本を読んだ。もう一度読みたいと思って探したら、「スズの兵隊」というタイトルになっていた。記憶違いだったのだろうか？ (仙台市民図書館)

国立国会図書館レファ協公式 @crd_tweet · 5分
昔、アンデルセンの「ナマリの兵隊」という本を読ん...
レファレンス協同データベース (レファ協) は、国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築する調べ物のための検索サービスです。参加館の質問・回答サービ...
crd.ndl.go.jp

Twitterを使ってみよう
登録してあなただけのタイムラインを作りましょう
アカウント作成

こちらもおすすめです · 更新
国立国会図書館 NDL @NDLJP

レファ協登録データを活用した取り組み

図書館員が調べた京都のギモン～京都レファレンスマップ～

libmaro
更新:2019年7月29日

関西 > 京都府 > 京都市

ファイルを選択: kyoto_reference → データを見る

埋め込みコードを取得

全て選択: ON

地図 航空写真

http://libmaro.kyoto.jp/kyoto_reference/001
梶井基次郎の小説『檸檬』に出てくる書店「丸善」の当時の写真が見たい。

http://libmaro.kyoto.jp/kyoto_reference/002
幕末、京都にあった岡山藩（備前藩）屋敷の場所を古地図などで確認したい。、江戸

http://libmaro.kyoto.jp/kyoto_reference/003
幕末、京都にあった岡山藩（備前藩）屋敷の場所を古地図などで確認したい。、江戸

http://libmaro.kyoto.jp/kyoto_reference/001

question	:梶井基次郎の小説『檸檬』に出てくる書店「丸善」の当時の写真が見たい。
referenceDB-URL	: http://crd.ndl.go.jp/reference/modules/d3ndlcrdentry/index.php?page=ref_view&id=1000106686
lib-name	:京都府立図書館
place_name	:丸善京都店跡地
modern_place_name	:三条通麩屋町西入（北側）
reference_materials	:『昭和前期日本商工地図集成 第2期』昭和10年京都市地図より推定。
period	:明治～昭和戦前
DBpediaURI	: http://ja.dbpedia.org/resource/梶井基次郎
date	:2014-06-22 00:00:00



参加方法 /
参加した後

参加申請について

- 参加資格

- 学校教育法第一条の大学又は高等専門学校に設置された図書館又は研究所
- 図書館法の規定に基づく図書館又はこれに準ずる機関
- その他、専門図書館、学校図書館等、文書館etc...

- 申し込み方法

- 上記を満たすことを示す資料と参加申請書を送付
- おおむね 3 週間以内にIDなどをお知らせします。

<https://crd.ndl.go.jp/jp/library/entry.html>

■ 参加した後：段階に応じた事務局からのサポート

- ・ 参加館通信（月 1 回発行）
 - ・ レファ協に関する情報をお知らせするメールマガジン
- ・ 作成データのフォロー
 - ・ 最初に作成したデータは事務局で確認（その後もいつでも相談に応じます）
 - ・ レファ協サポーターからアドバイスがもらえることも
- ・ 集合研修
- ・ 講師派遣型研修
 - ・ 図書館に事務局員を派遣し、要望に合わせてご説明。旅費、宿泊費は依頼館の負担です（謝金不要）。
- ・ 事業参加館フォーラム
 - ・ 事業に関する意見交換、相互交流、連携協力の場として実施。講演や参加館の実践報告、フロアを交えたディスカッション、交流会など。

■ まとめ：レファ協の価値とは？

- 「記録する」ことで業務がスムーズになる
- 図書館のサービスを可視化できる
- レファ協には図書館の実態がぎっしり！
アイデア次第で、まだまだいろいろんな活用法が
 - レファレンス情報源
 - 自館のレファレンスデータベース
 - 選書や蔵書構築の参考情報
 - 利用者のニーズ把握の材料
 - 組織内での説明、外部向け広報の材料
 - 研修教材 ...